

■デンマーク：デンマーク、巨大な「エネルギー島」を建設

2020年5月20日付の報道によると、デンマーク政府は、洋上風力発電のハブとなる2つの巨大な「エネルギー島」を建設する計画を明らかにした。1つはバルト海のBornholm島であり、もう1つは北海に新規に造られる人工島である。プロジェクト総額は、最大370億ユーロ（約4兆3,000億円）とデンマークの単一インフラプロジェクトとしては過去最大の投資額となる。また、2030年までに各島周辺にはそれぞれ200万kWの洋上風力の設置が計画され、これにより国内の洋上風力設備容量は約3倍となり、デンマークの全580万世帯のうち400万世帯の電力需要を賄える見通し。さらに政府は、将来的に設備容量が1,000万kWまで拡大される可能性や、水素製造設備の設置計画についても言及している。同国は、2019年末に新気候法を制定し、2030年までのGHG排出削減量を70%（1990年比）とする非常に野心的な目標を掲げている。同プロジェクトはその取り組みの一環であるが、目標達成方法の詳細は明らかにされておらず、今後の協議によって決めるとしている。